

公表

事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	こども支援ルーム星置		
○保護者評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和6年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 0
○従業者評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和6年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和6年9月1日		～ 令和6年10月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	経験年数5年以上の作業療法士及び言語聴覚士が訪問支援しており、医学的な観点からより専門的な支援及び先生に対する助言を行うことが可能です。	学校作業療法として、支援が必要なお子さんだけでなく、クラス運営において先生の負担が少なくなるように意識しております。	訪問先（学校）での作業療法士の有効性を先生に理解してもらうため、すぐに使えるアイデアを提案していきます。
2	経験豊富な作業療法士が5名以上在籍している。	学校作業療法を広く展開するため、OJTにて研修を積んでおります。	学校作業療法を展開できる作業療法士を増やして、多くの訪問先（学校）及び先生にとって負担やストレスがないクラス運営となり支援の必要な児童がのびのびと自信を持って学校生活を送れるように進めていきます。
3	作業療法士により、お子さんの感覚・運動面の調整として感覚グッズなどの具体的支援グッズの提供が可能	必要に応じて段ボールを用意したり、支援グッズを貸し出しております	訪問用の支援グッズのセットを作って、訪問時は持ち歩くようにしていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援の実施後の先生へのアドバイスやフィードバックを十分出来ていない訪問先（学校）がある	訪問先により、忙しく説明する時間がないという場合があり、詳しく説明が出来ていない。	今後は、FAX、メールなどで訪問後の様子とアドバイスを提示して、コメントに対して質問や主訴があればすぐに対応していきます。
2			
3			